

2025年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：監査論特論						
担当教員名：紫閑正博						
授業科目概要： 近年、会計上の取引は、将来を見越して現在の金額を決定する方式の取引へと変化している。いわば、未来を先取りした見積り中心の金額が財務諸表上にますます増えているといつても過言ではない。本講義では、監査の基礎事項とその要点を取り上げて概説し、とりわけ現代会計における監査を考察し、監査の手法や在り方は如何にあるべきかを検討する。						
履修上の留意事項： 会計の基礎を一通り学習していることが望ましいが、履修条件ではない。本講義は毎回の出席を前提とする。問題意識を持って積極的に授業に参加することが不可欠である。また、自身の考えを客観的に捉えて、文章化することにも努めてほしい。場合によっては、受講生と相談の上で、進捗度や内容を変更する場合もある。						
教科書・参考書（参考文献） <table border="1"> <tr> <td>書名 :『財務諸表監査 第3版』 (教科書) 著者／編者：亀岡恵理子・福川裕徳・永見尊・鳥羽至英 著 出版社：国元書房 出版年：2024年</td> <td>書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：</td> </tr> <tr> <td>書名 :『会計研究入門－“会計はお化けだ！”－』(参考書) 著者／編者：鈴木義夫・千葉修身 著 出版社：森山書店 出版年：2015年</td> <td>書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：</td> </tr> <tr> <td>書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：</td> <td>書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：</td> </tr> </table> <p>評価方法及び評価基準： 授業内の議論への参加と貢献（質疑応答、発表）50%、レポート50%で総合的に評価する。なお、評価基準は、A80点以上、B70～79点、C60～69点、F60点未満である。</p> <p>授業目標及び進め方： 授業目標は、財務諸表監査の意義、監査制度、監査プロセスなどの監査制度と監査実務の基礎事項に対する理解を深め、現代会計における監査を考察し、監査の課題に迫ることにある。 履修者は少人数が想定されることから、教員による講義に加えて、教科書などを輪読し、それらに対する各自の理解および考察内容を基に議論を行う。質疑応答、発表を通じて、積極的に授業に参加する姿勢が求められる。</p>	書名 :『財務諸表監査 第3版』 (教科書) 著者／編者：亀岡恵理子・福川裕徳・永見尊・鳥羽至英 著 出版社：国元書房 出版年：2024年	書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名 :『会計研究入門－“会計はお化けだ！”－』(参考書) 著者／編者：鈴木義夫・千葉修身 著 出版社：森山書店 出版年：2015年	書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：
書名 :『財務諸表監査 第3版』 (教科書) 著者／編者：亀岡恵理子・福川裕徳・永見尊・鳥羽至英 著 出版社：国元書房 出版年：2024年	書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：					
書名 :『会計研究入門－“会計はお化けだ！”－』(参考書) 著者／編者：鈴木義夫・千葉修身 著 出版社：森山書店 出版年：2015年	書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：					
書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：	書名 : 著者／編者： 出版社： 出版年：					

第1回	テーマ：ガイダンス、監査の定義と監査の成立 内 容：監査概念と財務諸表監査の生成基盤 教科書 第1章、第2章
第2回	テーマ：公認会計士制度と監査法人制度 内 容：公認会計士と監査法人、日本公認会計士協会と金融庁の役割 教科書 第3章
第3回	テーマ：監査人の独立性、重要な虚偽表示 内 容：監査人の独立性と正当な注意、財務諸表における重要な虚偽表示 教科書 第4章、第7章
第4回	テーマ：金融商品取引法監査制度 内 容：金融商品取引法監査の仕組み 教科書 第5章
第5回	テーマ：会社法監査制度 内 容：会社法監査の仕組み 教科書／参考書
第6回	テーマ：監査基準の形成と監査基準の体系 内 容：監査基準の変遷と一般に公正妥当と認められる監査の基準 教科書 第6章、第8章
第7回	テーマ：監査プロセスとアサーション 内 容：監査プロセスの構成とアサーションの構造 教科書 第9章
第8回	テーマ：監査リスク・アプローチ 内 容：監査リスク・アプローチによる監査手法 教科書 第10章
第9回	テーマ：内部統制と監査 内 容：内部統制概念、財務諸表監査と内部統制報告書監査 教科書／参考書
第10回	テーマ：監査手続 内 容：監査証拠と監査技術 教科書 第11章
第11回	テーマ：監査報告書と監査意見 内 容：監査報告書の構造とKAM、監査意見の類型 教科書 第13章、第14章
第12回	テーマ：財務諸表監査とゴーイング・コンサーン 内 容：ビジネス・リスクの評価と財務諸表監査 教科書 第15章
第13回	テーマ：監査の品質 内 容：会計規制、監査事務所における品質管理 教科書 第16章
第14回	テーマ：現代会計と監査 内 容：現代会計における監査の意義 教科書／参考書
第15回	テーマ：まとめ 内 容：これまでの総括 教科書／参考書